

汐見台中学校防災訓練（2024年2月17日）

汐見台中学校で2月17日に防災訓練が行われました。この防災訓練の参加者は避難場所を設置するという意味合いが強い「共助」を目的とした訓練です。小学校の防災訓練のような机の下に隠れて、集団で避難するという「自助」を目的とはしていません。

あくまでも耐震性のマンションに住んでいる人は、横浜市も「自宅待機」が前提です。

その上で、災害時には「汐見台地区の避難所の運営はその住民が行うべき」という方針があります。

よって、震災後に防災委員会のメンバー（その年の自治会長）が、汐見台中学校に出向き、避難所の開設に協力します。

防災訓練の設置は横浜防災ライセンスメンバー、汐見台中学校職員、生徒、防災委員会メンバーでしたが、訓練に参加したメンバーもそれぞれの設置・使い方・活動紹介を説明してもらっていました。

本当の震災時には、上記担当者が集まれるとは限りません。多くの住民に避難所の開設自作業を理解してもらい、手が空いた人に「共助」目的で汐見台中学校に来てもらい、開設を手伝ってもらう必要があります。防災訓練は、その予備知識を多くの人に知ってもらう場となります。

グランドステージ磯子（G S I）は汐見台中学校の隣で、「共助」しやすい環境です。宜しくご理解お願い致します。

<ハマッコトイレ>

ハマッコトイレは、汐見台中学校校庭の大通り側真ん中にある倉庫に収納してあります。

設置場所はマンション下、信号近くの校庭右隅です。ハマッコトイレの説明掲示板があります。

汐見台中学校のマンホールは地面目印から15～30cm埋まったところにあり、震災時はそこを掘り起こしてトイレを設置します。

中学生20人で掘っても1時間かかると言われています。設置には作業人数が必要です。

設置後は誰でも使えますが、頻繁に使う場合、溜まった汚物をプールから水流す等、メンテ作業の手伝いを分担して行います。

トイレは一般用と車いす用があります。



< 備蓄品詳細 >

最新の情報です

区報告様式 4

【 提出用・備蓄庫控用 】

磯子区地域防災拠点 備蓄物資チェック表 (令和5年度)

[点検日] 2023 年 10 月 14 日

[拠点名] 汐見台中 学校

[実施者] 伊藤 憲太郎

1 備蓄庫

場所	点検内容	結果
ドア	ドアクローザー	<input checked="" type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不可
	鍵の施錠状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不可
懐中電灯	点灯状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不可

※電池切れの場合は助成金(8万円)で補充をお願いします。

2 食料・水 「基準数量」を超える数の食料・水がある場合は「確認」欄にチェック(✓)してください。

クラッカー(70食/箱)		缶入り保存パン(20食/箱)		ライスクッキー(20食/箱)	
2019年製	3 箱	2019年製	10 箱	2019年製	1 箱
2020年製	3 箱	2020年製	10 箱	2020年製	1 箱
2021年製	3 箱	2021年製	9 箱	2021年製	1 箱
2022年製	3 箱	2022年製	11 箱	2022年製	1 箱
2023年製	2 箱	2023年製	10 箱	2023年製	1 箱
計	14 箱	計	50 箱	計	5 箱
×70食=	980 食	×20食=	1000 食	×20食=	100 食
		基準数量		合計で2,000食	
		左3種合計	確認	2080 食	✓

水缶詰(24缶/箱)		スープ(45食/箱)		おやつ(20食/箱)	
2018年製	17 箱	2019年製	1 箱	2019年製	4 箱
2020年製	22 箱	2020年製	2 箱	2020年製	5 箱
2021年製	7 箱	2021年製	2 箱	2021年製	5 箱
2022年製	14 箱	2022年製	2 箱	2022年製	5 箱
2023年製	17 箱	2023年製	2 箱	2023年製	5 箱
計	77 箱	計	9 箱	計	24 箱
×24缶=	1848 缶	×45食=	405 食	×20食=	480 食
基準数量	確認	基準数量	確認	基準数量	確認
2,016缶	✓	220食	✓	460食	✓

品名	基準数量	確認
粉ミルク ※1	20本(1箱)	✓
ほ乳瓶	20本(1箱)	✓

※1 20本中1本はアレルギー対応のもの。

3 生活用品 「数量」どりの数がある場合は「確認」欄にチェック(✓)してください。

品名	数量	確認	品名	数量	確認
高齢者用紙おむつ ※1	210枚	✓	下水道直結式トイレ	5基	✓
乳幼児用紙おむつ・紙パンツ ※1	1,350枚	✓	仮設トイレ ※5	2基	✓
生理用品 ※1 ※7	425個+320個	✓	ワンタッチトイレニードP型(バック式トイレ)	6基	✓
トイレトーパー	192巻(2箱)	✓	ワンタッチトイレニードA型(バック式トイレ)	4基	✓
アルミブランケット	240枚(2箱)	✓	ワンタッチトイレ専用簡易テント	4基(1箱)	✓
毛布 ※2	✓	✓	トイレバック(尿処理剤/凝固剤) ※6	5,800セット	✓
移動式炊飯器 ※3	1台	✓	下水直結式トイレ	5基	✓
炊飯器用発電機 ※3	1台	✓	簡易テント	2基	✓
ガスかまどセット ※3(かまどは2つ)	1セット	✓	防災ラジオ(ECO-2)	2台	✓
			避難者識別用リストバンド	200本	✓

二段式ボイラー ※4	1セット	マグネット付LEDライト	5台	✓
簡易炊飯袋	1000枚(20パック)	センサー式ライト	6台	✓
スポーツクーラー	1台	サーキュレーター	1台	✓
防犯ブザー(電池及びドライバ付)	40台	女性・乳児支援セット(銀色のスーツケース)	1個	✓
受水槽用蛇口 ※8	1式	給水用水槽(1L)	1個	✓
給水袋(10リットル)	10袋	給水袋(20リットル)	5袋	✓

※1 3種類が混在して1つの箱に入っている場合があります。
 ※2 毛布の備蓄数量は240枚ですが、拠点備蓄庫に入りきらないため横浜市備蓄庫に保管しています。
 ※3 炊飯器は小学校拠点のみ、ガスかまどセットは中学校拠点のみ。
 ※4 二段式ボイラーは、新型移動式炊飯器が配備されている小学校拠点のみ。
 ※5 仮設トイレの種類は拠点によって異なり、和式と洋式が1基ずつ配備されています。
 和式:シグレットA型、ベンクイックS、YHR1 洋式:シグレットW型、ベンクイックH2、ドント・コイ
 ※6 トイレバックは、一部横浜市備蓄庫に保管している場合があります。
 ※7 +320個(40個入り×8セット)は災害ボランティアネットワーク様を通じてご寄付いただいた物品です。
 ※8 受水槽用蛇口は一部(受水槽のある)拠点のみ

4 救護用品 「数量」どりの数がある場合は「確認」欄にチェック(✓)してください。

品名	数量	確認	品名	数量	確認
松葉杖	5組	✓	保温用シート	50枚	✓
リヤカー	2台	✓	グランドシート	10枚	✓
車椅子	1台	✓	応急手当用品セット(医療局配備)	1個	✓

5 救助用品 「数量」どりの数がある場合は「確認」欄にチェック(✓)してください。

品名	数量	確認	品名	数量	確認
ガソリン式発電機	3台	✓	ヘルメット	10個	✓
ガス式発電機	3台 ※1	✓	つるはし	5本	✓
ハンドマイク	2個	✓	大ハンマー	5本	✓
LED投光器・コードリール	5台	✓	スコップ	5本	✓
一方 油圧ジャッキ	1台	✓	ロープ	5本	✓
のみ 自動車用ジャッキ	5台	✓	大バール	5本	✓
掛け矢	2個	✓	ワイヤーカッター	5本	✓
担架	10本	✓	大なた	5本	✓
ポール(応急担架用)	10本	✓	のこぎり	5本	✓
金属はしご	1本	✓	てこ棒	5本	✓
			エンジンカッター	2台	✓

※1 小学校拠点は移動式炊飯器(まかないくん)用のガス式発電機が追加で1台配備されています。

6 燃料 「数量」以上の数がある場合は「確認」欄にチェック(✓)してください。

品名	数量	確認	品名	数量	確認
ガソリン缶(10)	15缶	✓	一方 混合ガソリン缶(10)	2缶	✓
4サイクルガソリンエンジンオイル(10)	2缶	✓	のみ 混合ガソリン缶(450ml)	4缶	✓
ガソリン携行缶(訓練・点検用)	1缶	✓	2サイクル専用オイル(10)	1缶	✓
ガスボンベ	18本	✓			
灯油携行缶(灯油100入り)	1缶	✓			

※2 上記2点はエンジンカッターの箱に入っています
 ※ 灯油携行缶は小学校拠点のみ

7 情報伝達機器 「数量」どりの数がある場合は「確認」欄にチェック(✓)してください。

品名	数量	確認	品名	数量	確認
収納用コンテナ(クリア)	1個	✓	特定小電力トランシーバー	5基	✓
防災電話機(子機・黒)	1台	✓	特設公衆電話用電話機(白)	2台	✓
防災電話機用モジュラーコード(200m)・コードリール	1式	✓	特設公衆電話用モジュラーコード(30m)	2本	✓

※全て収納用コンテナに入れて保管してください

8 情報伝達機器(アマチュア無線)

品名	数量	確認	品名	数量	確認
アマチュア無線用物品箱	1箱	✓	アマチュア無線用アンテナ	1本	✓

9 その他 「数量」どりの数がある場合は「確認」欄にチェック(✓)してください。

品名	数量	確認	品名	数量	確認
ピブス(オレンジ)	10枚	✓	折りたたみ自転車	1台	✓
ピブス(青)	10枚	✓			
多言語表示シート	1セット	✓	ホワイトボード(聴覚障害者用)	1個	✓
感染対策資器材(青色コンテナ)	2箱	✓	地域防災拠点開設・運営キット	1個	✓
アルコール消毒液	1箱	✓	多言語翻訳機(ボケトーク) ※1	1台	✓
センサー式スタンド型体温計	1台	✓	カゴ車	1台	✓

※1 ボケトークは地域防災拠点開設・運営キットの中で保管

10 賞味期限切れ備蓄食品等について

品名	数量
クラッカー	箱 個
缶入り保存パン	箱 個
ライスクッキー	箱 個
水缶詰	3箱 72本
スープ	箱 個
おやつ	箱 個
粉ミルク	箱 個
その他()	箱 個



備蓄品倉庫は校門を入った中庭にあります。

< デジタル移動無線 >

避難訓練ではデジタル移動無線で区役所との連絡デモがありました。

しかし、デジタル無線はアマチュア無線非常通信協力会磯子支部メンバー個人からの借用品で、汐見台中学校には設置されていません。

災害時には緊急時優先ケーブルが2本あり、普通の電話2台が使われます。

黒い電話が区役所との連絡用。被災者向けには白い電話が使われる予定です。料金は無料とのことでした。

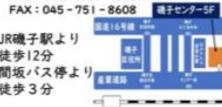
G S I としても、被災状況や配給に関する情報収集はこの拠点から得ることになります。



<磯子区災害ボランティアネットワーク>

災害ボランティアネットワークは被災後のボランティアと被災者をつなぐ役割を担います。

つなぎ役としてボランティアに参加できる人を募集している様です。

<h3>災害時の活動</h3> <p>磯子区災害ボランティアセンターの運営 大規模災害時、磯子区災害対策本部・磯子区社会福祉協議会と連携・協力し、磯子区災害ボランティアセンターを運営します。</p> <p>災害ボランティアセンターとは 被災地に応援に来たボランティアを受け入れ、被災地のニーズを調整し、円滑かつ効果的な支援活動につながる場所です。阪神・淡路大震災を契機として、被災地に設置されるようになりました。</p> <p>区災害ボランティアセンター設置場所 磯子駅近くにある、磯子区総合庁舎周辺に設置されます。</p> <p>磯子区災害ボランティアネットワークが区・区社協と連携して行うこと 磯子区へ応援に駆け付けた、専門技術が必要としない“一般ボランティア”と、区内の一般ボランティア派遣依頼の間を調整します。</p>	<h3>磯子区災害ボランティアネットワーク</h3> <p>2006年設立</p>   <p>「いざ」というとき 支援を必要とする方と 応援ボランティアの “つなぎ役” を一緒にやりませんか</p>	<h3>磯子区災害ボランティアネットワーク 団体概要</h3> <p>活動目的 ○災害時に必要な平時からの顔の見える関係づくり ○磯子区災害ボランティアセンターの円滑な運営の実現</p> <p>会員 ○代表：森本 美知子 ○活動会員 個人：50名 団体：15団体 ○支援会員 個人：20名 団体：11団体 2023年4月現在</p> <p>お問い合わせ先（事務局） 磯子区社会福祉協議会内 磯子区災害ボランティアネットワーク 〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-1-41 磯子センター5階 TEL：045-751-0739 FAX：045-751-8608</p> 	<h3>平時の活動</h3> <p>区災害ボランティアセンター設置・運営訓練 区役所と区社協と合同で、年1回、シミュレーションを実施しています。</p> <p>広報活動 地域防災拠点訓練や磯子まつり、各地域への出前講座等を通じて、防災知識普及、当団体の紹介などを行っています。YouTubeチャンネルでも広報活動中です。 YouTubeチャンネル二次元コード</p> <p>他区災害ボランティアネットワークとの連携 年数回、金沢・港南・栄・戸塚の各区災ボラと合同で研修を行い、連携強化を図っています。</p>
---	---	---	---



<避難生活の区割り>

汐見台中学校の体育館が避難場所になります。

その一人当たりの区画は○で囲んだ1 m × 2 mの狭いスペース。

周りに区切りも無く、全員で160名の収容スペースしかありません。

コロナ対策が加わると、0.9 m × 1.8 mになり、間隔を空けるので収容人数は80名に減るそうです。

汐見台には耐震性が弱い団地や、高齢者が多い住宅もあり、GSIの居住者が入る余裕はありません。

自宅で被災生活を送れる準備をお願い致します。

